

【トラック1】プロローグ

りお・ゆき・ママ 先生を玄関でお出迎え

(声の向き:正面 距離:普通)

// SE ピンポン

りお

「あ、きたきた。先生！ いらっしゃーい。
来るの遅いから待ちくたびれちゃったよ～っ♪」

// りお、正面から先生に接近して。途中で引き剥がされ、左側隣にいるゆきへ喋る

りお

「罰としてえ、ぎゅ～っ♪
…って、いったあいつ、もう、何するのゆき！」

ゆき

「何って、いきなり抱きついたりするからでしょ～！」

// ゆき、正面から先生に接近して。

ゆき

「ねえ先生、いきなり抱きつかれたりしたら先生だって困りますよね？
もちろん私は節度守る良い子だからそんなことはしませんよ」

ゆき

「先生、いらっしゃいませ、
今日もお勉強、よろしくお願いしますね♪」

りお

「なによ～ゆきばかり良い子ちゃんしちゃってさ～。
いいじゃなーい！ だって久しぶりに会えたんだしー。
ゆきこそ、抱きつきたいならそうすればいいのに～、
いつもお利口ぶっちゃってさ(ぶつぶつ)

ゆき

「何か言った？」

りお

「なんでもありませーん」(ぷいつ、といった感じで)
そーだ、先生、りお、良いこと思いついちゃった！」

//りお、先生に正面から近づいて(ゆきは横へずれる)

りお

「ねね、先生、家庭教師に来るの週1じゃなくて、週5にしない？
ママが奮発するからさ」

ママ (声の向き:正面 距離:少し遠く)

「なーに勝手に決めてるの」

りおゆき

「ママ！」

ママ (声の向き:正面 距離:普通)

「まったく、さっきからみてたら二人とも……
そんなんじゃ先生が困っちゃうじゃない」

(正面 距離:近づきながら)

「ごめんなさいね…先生。2人とも先生のことが大好きみたい。」

りお

「(距離:近く)そうだよー。りお、先生のことだーい好き」

ゆき

「(距離:近く)ゆきだって、先生のこと大好きです」

ママ

「(距離:近く)ふふ、モテモテね。

でも、先生には本当に感謝してるんです。

だって、先生のおかげで二人の成績もすごく上がったんだもの。

これも、先生がとっても教え方が上手で、優秀だからですね。

//さらに近づき、近づいて手を握って・色気たっぷりに微笑みながらいう感じで

ふふっ、本当に、ありがとうございます。

と、あら、ごめんなさい。近すぎちゃったかしら。

(距離:普通)

……ふふふ。顔赤くしちゃって。

先生ったらとっても恥ずかしがり屋さんなんですね。

いいえ、可愛いですよ、クスクス♪

では、私はそろそろ出かけますけど、2人をどうかよろしくお願いしますね。

ほら、ゆき、りお、ちゃんと良い子にしてるのよ。

りお

「はい、大丈夫だよ～。

ママ、行ってらっしゃ～い！」

//ママ退場

りお

「ふふっ♪」

ゆき

「ふふふっ♪」

//下記同時に重ねる感じで

ゆき「さ、先生。お部屋に行きましょう。楽しい勉強のお時間です」

りお「さ、先生。部屋に行こう。楽しい勉強の時間だよ！」